

1 岐阜大学 工学部合格 / 24 回生 2005 年(平成 16 年度)卒

この受験を通して 1 年間に僕が思ったことを書こうと思います。

まず、部活をやっていると受験勉強が遅れるんじゃないかと思っている人は、安心して続けて下さい。途中でやめてしまうよりも、最後までやり遂げてからのほうがうまく受験勉強に移れると思います。

次に、家で勉強できない人は学校に残って自習をしていくと良いと思います。初めのうちはキツイと思いますが、何日か続ければ慣れてきます。それに、友達同士で質問しあったり、それでも分からないところはすぐに先生に教えてもらったりできるので、かなり勉強がはかどると思います。休みの日に図書館に行くこともかなりお勧めです。あの雰囲気はあまりやる気がないときでも勉強しようと思わせてくれます。

あと、自分が行きたいと思う学校のオープンキャンパスは必ず行った方が良いでしょう。学科選びの参考になるし、過去問をもらえたりします。何より、入りたい学校を見学するとやる気が出ます。それから、センター試験を受ける人は基礎の部分はかなり大切です。問題集の基礎の部分だけを何度かやるだけでも、かなりとれる点数が変わってきます。あとは過去問をたくさんやって下さい。慣れは結構大切です。

最後に、受験において大切なことは生活のリズムを整えることだと思います。睡眠時間を削って夜遅くまで勉強し、授業中に眠ってしまうよりも、夜はよく寝て、学校できちんとやる方がずっと楽し、ストレスもたまりません。受験は何が起るのか分かりません。模試の結果が悪くても本番でうまくいくこともあります。志望校を目指して最後まで頑張ってください。

2 早稲田大学 教育学部合格 / 24 回生 2005 年(平成 16 年度)卒

私が受験勉強を経て、これがうまくいった要因じゃないかと思うことをいくつか書き出してみます。勉強法とかは自分にあったものを自分で見つけるのがいいと思います。

1. 常に上を見続ける。

私が最初に目指したのは名古屋の N 大でした。それから京都の R 大、そして今の大学、とどんどん目標を高くしていきました。どうしてもこの大学に行きたいというのがなかったら、まずは難易度の高いところを目指してみるのがいいと思います。

2. 自分が志望大学で何をしたいのかはっきりさせる。

やっぱり、目的がはっきりしていないとやる気が出ません。私の運のいいところは受験の始まりと同時にやりたいことが見つかったことです。「絶対コレをやるんだ。」という気持ちが、強いやる気を生んでくれます。

3. ライバルを見つける。

やっぱりこれは大事です。学年 1 位とかをとる奴と戦う。負けたくないという気持ちを持ってください。「あいつには勝てねえ。」じゃなく「絶対勝ってやる。」です。そして受験が終わったとき、ライバルはいい友達になってくれます。

受験はつらいです。だけど自分を成長させてくれるし、第一志望に受かる喜びは最高の喜びです。努力すればするほど、最後は泣けます。喜びの涙です。あと安易に浪人を考えないでください。私は東京の寮で浪人をする事の厳しさを教わりました。現役の頃とは比べものにならない厳しさです。浪人をなめないでください。

最後に、絶対悔いを残すのだけはしないでください。「ここで浪人してこれ以上何をするんだ？」というぐらいの努力をして、試験が終わったときに「これで落ちたら仕方ない。もう自分は精一杯努力した。」と思えたなら、必ずいい結果が届くと思います。南高校のみんなが受験で最高の結果を残せることを心から応援しています。